



うたづ

# 議会だより

2017  
第62号  
2.1  
香川県宇多津町



## キッズプラザの餅つき

この冬一番冷え込んだ朝、  
恒例の餅つきが行われました。  
ついたお餅にあんこを入れて  
丸める子どもたち。  
熱いうちに手早く丸めるのが  
大変そうでした。

町政を問う（一般質問）

6

応援しようでえ〜！「宇小・音楽クラブ」  
うたづっ子

16

元気ななかま 「宇多津町文化協会」

16

みなさまの声 「津の郷・田町南自治会」

15



# 平成28年 第4回定例会

平成28年第4回定例会は12月8日から15日まで開催し、本会議において審議した結果、継続審査2件を認定、議案12件を可決、同意1件を承認しました。一般質問は9日と12日に行い、議論を交わしました。

## おもな内容

### 平成28年度宇多津町一般会計補正予算

(1億6010万円)

全会一致で可決

#### ・ふるさと納税報償費

ふるさと納税の返礼品目を増やしたところ、予想以上に申し込みがあったため、返礼品代を追加する。納税額の半額を返礼の目安にしている。

#### ・庁舎耐震等改修事業工事請負費

庁舎内の放送設備、屋外の塗装、西館の看板フェンスなどの工事

#### ・コミュニケーション分館管理費

#### ・交通安全対策費

香川県内で交通死亡事故が多発しているためカーブミラーを増設する。

#### ・臨時福祉給付金給付事業費

#### ・漁港水産施設管理費

#### ・社会資本整備総合交付金事業費

次年度はやすらぎプラザ東の三差路までの道路整備を予定している。

### 平成28年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算

(5050万円)

全会一致で可決

インフルエンザなどの流行が予測されるため、その療養給付費を増額する。

## おもな条例改正

全会一致などで可決

#### ・宇多津町印鑑条例の一部を改正する条例

印鑑登録における性別に関する事項の削除  
(性的少数者に配慮して性別の項目を削除する)

#### ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例(※1)

#### ・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(※2)

#### ・宇多津町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(※3、4)

#### ・宇多津町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例(※3)

#### ・宇多津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(※3)

**人事院勧告による条例改正**

平成28年8月8日、国家公務員の給与改定や育児休業などの改善にともなう人事院勧告があったため、町でも条例を改める。

- ※1 介護休暇を分割して取得できる。
- ※2 育児休業の子の対象を特別養子縁組の監護期間中の子へ拡大する。
- ※3 期末手当を人事院勧告に準じて、引き上げる。
- ※4 配偶者の扶養手当を引き下げ、子の扶養手当を引き上げる。

**同意**

宇多津町教育委員会委員の任命  
水尾裕美子氏を教育委員に再任した。

全会一致で同意

- ・宇多津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・宇多津町農業委員会の選挙による委員の定数を改正する条例の全部を改正する条例
- 農業委員会の定数を15名から8名に減らす。(詳しくは4ページ)

**本会議 議員の賛否**

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 (議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する)

主な審議案件		港	大黒	井上	西本	濱中	柴村	宮本	大松	青木	藍川
認定	平成27年度 一般会計歳入歳出決算認定 (継続審査)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成27年度 水道事業会計決算認定 (継続審査)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案	平成28年度 一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成28年度 国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	一般職の職員給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	町長、副町長、教育長の報酬及び費用弁償条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	町議会議員の報酬及び費用弁償条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	国民健康保険税の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	農業委員会委員の定数を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	香川県市町総合事務組合同規約の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	同意	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	—	○

# ふるさと納税返礼品の人気商品は

## 委員会審議

### 鳥獣害対策

**Q** イノシシ対策の現状は。空き家に住みついてはいないのか。

**A** ノシシはすでに本町でも目撃されている。聖通寺山を中心に捕獲箱を設置し、その周囲に餌付けし、捕獲するため毎日確認している。町内の空き家では確認されていない。

**Q** 猟友会に対して捕獲費を1頭につき1万円支払うが、本町にも猟友会があるのか。

**A** 町に支部はないが、香川県猟友会坂出支部を通じてお願いしている。



海を泳いで移動するイノシシ

地域整備課

### ふるさと納税

**Q** 返礼品の品目が増えたが、どのような商品に人気があるのか。また1件あたりの納税金額はどれくらいか。

**A** 11月に返礼品を33品目から108品目に増やし、商品では「デコポン」「みかん」などの柑橘類がよく希望されている。金額は1万円から10万円、東京近辺からの問い合わせが多い。

**Q** 返礼品は町内で生産された品物にするべきでは。

**A** 全国の自治体でも地元で生産されたものの返礼品の割合は少ないようである。返礼品としては、町内業者のあつかう商品は原則として認定し、町外業者は町の特産品を使用した商品に限り認定している。

総務課

### 農業委員会制度

**Q** 農業委員会の定数が減るが、どのように変わるのか。

**A** 委員の選出方法が公選制から、市町村議会の同意を必要とする町長任命に変わる。選任に当たっては、地域の農業を担う認定農業者、女性・青年農業者、農業者以外で中立な立場で公正な判断ができる者を各1名以上入れ、地域の農業者と合わせて合計8名とする。

地域整備課

### 交通安全対策

**Q** カーブミラーの増設は何か所か。

**A** すでに修理修繕したものや増設したところもある。大橋地区など、要望のあった地区を中心にかなりの数を考えている。詳細は住民生活課にお問い合わせいただきたい。



新設されたカーブミラー

住民生活課

# 町政を問う

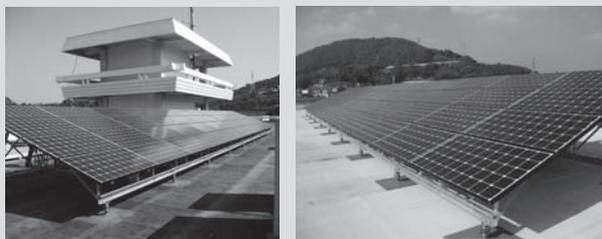
(一般質問の件名)

宮本 隆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長の教育行政への取り組みは</li> <li>・小中学校の避難訓練は活かされたか</li> </ul>
青木 義勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省「いじめの実態」22万件</li> <li>・改正新教育委員会制度</li> </ul>
藍川佳津樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再任教育長に抱負をうかがう</li> <li>・積み残した行政課題</li> </ul>
港 一紫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町PRシン・ゴジラによる費用対効果</li> <li>・地域防災計画での愛玩動物の保護は</li> </ul>
大黒 一也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のネットや特殊詐欺</li> <li>・職員のストレスチェックの計画と実施</li> </ul>
井上 弘治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンインフラと防災</li> <li>・財政から見たグリーンインフラ</li> <li>・宇多津農業と都市農業振興基本法</li> </ul>
西本 祐子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童ゼロを目指せ</li> <li>・歴史ある街並みと文化財の保存を</li> <li>・9月のゲリラ豪雨の被害と対策は</li> <li>・不妊治療費助成を男性にも拡大を</li> </ul>
濱中 保夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転免許返納者の対応は</li> <li>・福祉タクシーの増額は</li> </ul>
柴村 賢三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化の推進を求める</li> <li>・まちづくり総合計画の進捗状況は</li> </ul>

# 追跡調査

## 小中学校の太陽光発電システムは、今・・・

～防災拠点施設再生可能エネルギー等導入推進事業～



学校の屋上にある太陽光パネル

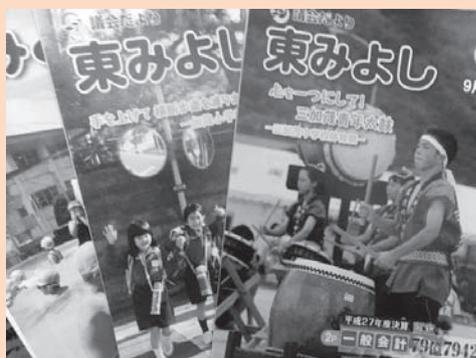
平成27年度に町の指定避難所である宇小、北小、中学校の3か所に太陽光発電システムを設置しました。災害時に避難所となる各施設の機能維持に必要な電力量を確保するとともに、平常時の使用電力の抑制をはかり「低炭素な地域づくり」を推進することを目的とした事業です。災害時には午後6時から午前6時までの夜間の電力を補うことができますし、平常時では1か月3000kWhを発電しているため、毎月約6万円程度の電気代の節約と約1.5トンのCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献していることとなります。

追跡調査

## 研修報告

## 徳島県東みよし町で広報研修

表紙は広報委員がそれぞれ撮ったものを持ち寄って選ぶとのことで、行事があると委員全員が自分のカメラで写真を撮るそうです。一つの記事に1枚以上の写真を入れることで、町民にわかりやすい広報を心がけていました。特集記事「どうする 滞納金」では実際の町営住宅、保育料、水道料金のなどの滞納金額の推移



インパクトのある表紙



東みよし町での研修

を一覧表にして、町民に問いかけていました。今後は私たちも、町民が知りたいことを正確に伝えていく「議会だより」を目指していきます。

研修報告



宮本 隆 議員

# 教育長の教育行政への取り組みは

## 地域全体で教育に取り組む／教育長

それを明確にしたのが、

**問** 教育の中立性・継続性・安定性を確保し、責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るため平成27年度より新制度が施行された。本町も第3回定例会で議会の同

意により10月から3年間、新教育長が任命され、教育行政の責務を負っていただくことになった。  
新教育長の教育行政への所信は。

**合田教育長** 教育行政を進めるうえで学校教育に限らず、社会教育ともども充実させ学校・地域・家庭が連携を深め、地域全体で教育に取り組むのが重要と考えている。

昨年度策定した教育大綱である。教育委員会としては学校の自主性を尊重しながらできる限りの人的配置、予算計上、教職員の資質向上のための施策を実施している。

# 小中学校の避難訓練は活かされたか

## 学校ごとに決められた行動をした／学校教育課長

**問** 平成28年10月21日14時頃、鳥取県中部を震源とするマグニチュード6.6の地震が発生し、鳥取県中部で震度6弱を、香川県内では震度3〜4で、激しい揺れを観測した。中学校・小学校では生徒児童が校舎内などにいた。中学校・小学校の教職員は、どのような避難行動を指示したのか、学校ご

とに説明をうかがいたい。

**和田学校教育課長** 宇多津

小は、担任の指示で机の下に入り震度3を確認し、教室外への避難行動は行わなかった。宇多津北小は、机の下に入り揺れがおさまったのち放送で運動場に避難指示をし、訓練と同じよう上靴で避難した。

中学校は、1・2年生は机の下に入り、揺れがおさまったのち、授業を継続、3年生は体育館で説明会を実施中、揺れがおさまったのち、会を継続、避難行動の指示は行わなかった。

**和田学校教育課長** 宇小は、震度3ということで避難しなかった。中学校は震度、津波発生の可能性、体育館が避難所に指定されていることなどを総合的に判断し、避難の指示は行わなかった。

**再質問** なぜ、統一した避難行動がとれなかったのか。



青木 義勝 議員

# 文科省「いじめの実態」22万件

## 「いじめ対策基本方針」で防止と早期発見に努める／学校教育課長

**問** 2015年度の全国の学校で認知した、いじめや不登校など「問題行動調査」が発表された。

「いじめ」は22万4540件、「不登校」も17万6000人を超えるという状況。認知件数は1000人あた

り、最多が京都府の90・6件、最少は佐賀県の3・5件で地域格差が見える。本町のいじめの実態と、いじめの対処や分類・いじめ解決の根拠などを問う。

**和田学校教育課長** いじめ対策基本方針」を定め、児童生徒の常日頃から見守りやアンケート調査などにより、いじめの防止と早期発見に努め、支援委員会などで情報を共有し対応している。については各校で「いじめ対

策基本方針」を定め、児童生徒の常日頃から見守りやアンケート調査などにより、いじめの防止と早期発見に努め、支援委員会などで情報を共有し対応している。

# 改正新教育委員会制度

## 首長と教育委員会の連携強化を図る／町長

**問** 新教育委員会制度がスタート。政治的中立を遵守しつつ教育行政の権限と責任が明確になり危機管理能力も問われる。新教育長は町長が任免し議会の同意を得る。新教育長の要件や改正に至る経緯と概要、総合教育会議の趣旨と運営、教

育大綱の策定など、町長や教育長が教育行政にどのように関わるのかを問う。

た新教育長の設置、首長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議の設置、教育に関する総合的な施策の大綱策定などがあ

**谷川町長** 今回の教育委員会制度の改正概要は、教育行政の責任体制を明確化するため責任者として教育委員長と教育長を一本化し

る。今後はより一層、地域の民意を代表する首長と教育委員会との連携強化を図るものとする。

る。今後はより一層、地域の民意を代表する首長と教育委員会との連携強化を図るものとする。



藍川 佳津樹 議員

## 再任教育長に抱負をうかがう

### 学校訪問に重点、学校と連携／教育長

**問** 今年10月の任期満了にともない、町長の信頼を得て任命され、議会は教育長の将来性に期待を寄せて再任を同意した。この信頼と期待に応えていただきたく、教育長の教育についての抱負をうかがいたい。

一マについてと、その上で今後どのような教育方針をもって職務に精励されるのか。

学校訪問に重点を置き連携を深めた。4年間校長との対話の中で、教職員の実態や児童生徒の生活実態、学校課題の把握に努めてきた。

育にシフトするなど、教育スキームの改革に権限を持つ。その立場としての抱負は。

その前段として、この4年間で特に注力した教育テ

**合田教育長** 社会教育には現職での経験があるので、ある程度把握しており対応してきた。学校教育については未経験なので、特に学

**再質問** 4年間の仕事が現場廻りというのは寂しい。教育長は学校の諸課題、例えば社会の財を子ども教

**合田教育長** 私はこれまでの教育費には満足している。ただし教育費負担の軽減など、財政当局と協議して検討していきたいと思っ

## 積み残した行政課題

### 鍋谷7号線は休止、公金の取り扱いは改善／町長

**問** 一般質問で議員が心ずることは質問のしつ放しに終わらないこと。その上で追跡調査の重要性を認識し、未処理の課題についての状況を問う。

金紛失問題、③事業評価におけるフルコストの適用課題、次の④はその他執行部において未だ積み残している課題についてうかがいたい。

**谷川町長**

①鍋谷7号線  
…場所的に危険が明白であ

り、町としては住民の安全・安心が大前提と考えている。また、解消するには多大な費用などを要するため、工事については当分の間凍結すると6月議会でもお答えしており、それは休止ということである。用地の有効利用については内部協議

を指示している。議員の皆さんも一緒に考えていただきたい。  
②公金紛失問題…坂出警察署に捜査依頼をしているので継続されている。公金の取り扱いに万全を期すよう改善を進めた。

議論が噛み合わないといけないので、私の方からまず①鍋谷7号線問題、②公



港 一紫 議員

# 宇多津町PRシン・ゴジラによる費用対効果

インパクトのある情報を提供／まちづくり課長

**問** 町は「コンパクトタウン

宇多津」のPR動画をシン・ゴジラとコラボレーションして作成した。谷川町長、町職員の有志が出演しており、コンパクトで住みやすいことをうまく表現できていると思う。これは広告であるが、宇多津町に対する経済的効果があったのか。

**浅野まちづくり課長** 効果

を金額や数値に表すことは難しい。しかしながら、町公式YouTube（ユーザーブ）では約1万7000回の動画視聴回数があり、県内外にインパクトのある情報を提供できた。ゴジラの動画に関しては平成28年いっぴいの使用となっている。

**再質問** シン・ゴジラに続く町のPRは考えているか。

**浅野まちづくり課長** 第2

弾として移住、定住の動画を作成して編集をしている。町公式YouTubeほかサイトやフェイスブック広告などを考えている。

## 地域防災計画での愛玩動物の保護は

現在は体験型の避難訓練を実施している／住民生活課長

**問** 宇多津町地域防災計画

一般対策編第2章第31節に愛玩動物の保護計画があり、その中に災害時に飼い主と共に避難してくる動物に避難所において適切な飼育管理や保護収容を確立して飼い主への支援および被災動物

物の救護体制を整備するとある。

一度、愛玩動物と一緒に避難する訓練を実施してみてはどうか。

**中村住民生活課長** 自治会

連合会で現在実施している

避難訓練は体験型に主眼を置いている。避難訓練については、次のステップとして助言したい。

**再質問** ペット同伴避難場所の設置は。

**木下危機管理課長** 現在のところ、原則として避難者とペットは別の場所に避難する。小学校であればペットはグラウンド、体育館の横などを考えている。



宇多津町をPRする動画



大黒 一也 議員

## 高齢者のネットや特殊詐欺

### 高齢者向けの講演会やチラシ配布をしている／住民生活課長

**問** 高齢者の消費者被害は社会的な課題。被害が急増し、6割がネットショッピングやオークションを日常的に利用するインターネット新住人で、時間と資金に余裕がある高齢者が知識不足から悪質なサイトや広告でトラブルに巻き込まれる危険性が高い。適切な周知啓発が必要だが、未然に防

ぐための実演を含めた学習機会を積極的に進めていく考えは。

**中村住民生活課長** 本町では香川県消費者生活センター講師派遣事業として、高齢者を対象に平成27年度、28年度に悪徳商法についての講演会を開催している。また年に一度、消費者生活

センターのチラシを全世帯に配布している。しかし、現状では高齢者の振り込め詐欺などは、いまだ発生している。ネットの仕組みやリスクへの具体的対応の実演を含めた学習機会の提供を県などの関係機関と協議し要望していく。

**再質問** 「まんてがん体操」の場所を利用する考えは。

**中村住民生活課長** コミュニケーションを取る場所だと認識している。担当課長や地域のお世話している方の意見を聞いて、必要性に応じて対応していく。

## 職員のストレスチェックの計画と実施

### 8月に職員と臨時職員に実施した／総務課長

**問** ストレスチェックは、心の健康の保持増進を図るために定期的にストレスの状況について検査を行い、検査結果を集団ごとに集計分析する。職場における要因を評価し、環境改善につ

**山下総務課長** 今年8月にストレスチェック票を配布回収し、9月に結果を本人に通知、面談を希望する場合は産業医を紹介した。対象者は正規職員および週30時間以上勤務の臨時職員。10月に集団集計分析を行い、11月に労働基準監督署に提

出した。職員の同意のある結果などは5年間総務課で保存する。今後衛生委員会などで改善などについても協議していく。

**再質問** なぜ、教職員には書面チェックをしないのか。

**和田学校教育課長** 教員の質問項目が充実しており効果的な分析ができ、何回でもストレスチェックを受けられるからである。



高齢者向けのポスター

ね、高ストレス者を早期に発見し医師による面接指導につなげることを目的としている。本町の職員と教職員はどのようにストレス

約し、9月と11月に実施。

**和田学校教育課長** 本町各校の教職員は50人未満なので義務化はないが、努力目標で実施している。6月に公立学校共済組合と委託契



井上 弘治 議員

# グリーンインフラと防災

## 近隣地域と協力し取り組み／危機管理課長

**問** 国家戦略としてグリーンインフラが盛り込まれた。

日本は大雨による降水量が平均40%増加し河川の洪水の発生頻度も現在より4・4倍に増加。水害リスクの増大が予想されている。

森林や農地などは貯水機能として考えられ、豪雨では河川や水路への流水を緩

和させ水害を抑える能力を発揮する。グリーンインフラによる本町の防災の取り組みは。

**木下危機管理課長** 生物多様性国家戦略の中で本町の防災の取り組みとして、

低酸素社会を目指した再生可能エネルギー太陽光発電

システムを各学校に設置した。今後、近隣地域と多面的に協力し取り組みが必要がある。

**再質問** 南部農地の宅地化

が進み、雨水は短時間で河川に流水し水位を高水させる。浸水しやすい地域の対策は。

**木下危機管理課長** 河川は

県の管理である。内水被害の軽減対策や高潮などの防御対策など、治水安全度の向上を図るための整備計画があり、50年に1度の豪雨を想定して設定されている。

グリーンインフラ・・・自然が持つ貯水・保水能力を利用して、防災・減災を進めるインフラ整備

# 財政から見たグリーンインフラ

## 整備資本の検討が必要／水道課長

**問** 国内のインフラの老朽化が進む。このため、インフラの維持費が年々増大する。国は20年先の維持費は新規インフラの投資額を上

回り維持に必要な額の約16%が担保できないと試算。そこでコスト削減としてグリーンインフラを進めると

している。本町のインフラ整備の維持費用は今後どうなるのか。

**松本水道課長** 宅地開発に

より貯水機能を果たしていた地域が減少。豪雨の際は河川への流達時間が速くなり被害をおよぼす。これを

強制的に排除するインフラが必要。以上を踏まえて整備資本の検討が必要と考える。

**再質問** インフラの維持費

は次世代にも負担となる。今の子どもたちの定住とそ

**合田教育長** 子どもたちに

関わる諸問題に対して解決策を見出していく。教育の機会均等の観点から、経済格差が教育の格差につながるように、楽しく学べる環境作りに努力していく。

## 待機児童ゼロを目指せ

### 公立保育所の計画的な採用や処遇改善を行う／保健福祉課長



西本 祐子 議員

**問** 10月1日現在の本町の待機児童は6人と発表された。これは4月から3人増えており、育児休業中や特定の保育園のみを希望する人は含まれない。高松市では「潜在保育士の掘り起こし」に力を入れている。これは結婚や出産などで辞め

た保育士の子どもを優先的に入所させ、保育士を確保するというもの。本町ではどのような取り組みを考えているのか。

**高瀬保健福祉課長** 県では保育士バンクなどを活用して復職者を増加する取

り組みや保育士養成施設の学生に対する就学資金の貸し付けや就職支援を行っている。本町では私立保育所で、待機児童の解消を目的にした「保育士人材確保事業費補助金」の活用による保育士確保をお願いしてい

は正規職員の計画的な採用や処遇改善を行っている。今後も職業安定所はもちろん、就職合同説明会「香川保育士フェア」にも参加するなど保育士確保の取り組みを行っていく。

## 歴史ある街並みと文化財の保存を

### 町家も文化財も調査をしていく／教育次長

**問** 歴史的に貴重な建物や街並みがどんどん壊されている。多度津町では七福神と呼ばれた一人の「合田邸」を保存することになったが、本町では町家の保存は考えていないのか。歴史ブームで町歩きをする観光客をよく見かけるが、指定文化財などの管理は。

**庁舎耐震改修も終わるので、一般住民がご持ちの貴重な文献や資料の保管場所を考えてみては。**

**藤原教育次長** 平成17年作

成の「うたづの歴史的建造物と景観」に記載された町家の中で、町で購入しリニューアルして保存したもの

もあるが、すでに建て直されたものもあり、今後の存続が懸念される。空き家となっている町家については、所有者のご意向をうかがいたい。町内の指定文化財は年1回の草刈りを行っている。民間で所有している文化財については、まずは文化財として価値があるかどうか

**再質問** 指定文化財周辺の草刈りは年1回では追いつかない。ボランティアを活用しては。

**藤原教育次長** 文化財保護

協会を中心にボランティアを募って草刈りなどをした



旧讃岐鉄道岩屋架道橋(登録有形文化財)



濱中 保夫 議員

# 運転免許返納者への対応は

## 福祉タクシー助成事業で対応している／健康増進課長

**問** 最近の新聞報道やテレビニュースを見ると、交通事故での高齢者の方々が被害者でなく加害者になるケースが多く見られる。高齢者の運転免許返納は、坂出市では65歳以上タクシー券1万円を1回限りと循

**環バス運賃半額、丸亀市は65歳以上コミュニティバス半額。宇多津町では、運転免許返納者への対応はどうなっているのか。**

**中谷健康増進課長** 本町の運転免許返納者については保健福祉課が所管しており、「宇多津町福祉タクシー助成事業」の要綱を改正し、事業の対象者に「運転免許証を返納した者」を追加し平成27年度実施した。助成

内容は、福祉タクシーと全く同様の内容となっている。毎年申請月に応じて、1枚500円のタクシー券を最大20枚（1万円分）交付している。

# 福祉タクシーの増額は

## 昨年度と今年度に対象者の拡大を行った／町長

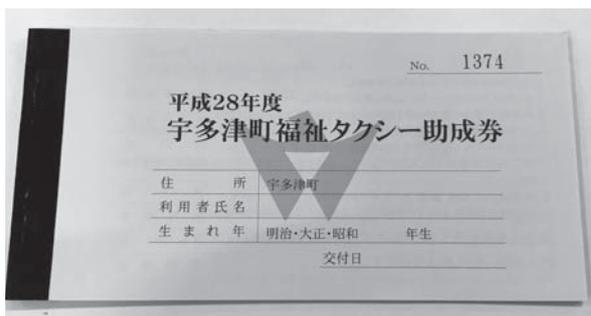
**問** 福祉タクシーは、町に広域バスの運行が難しいため、その代わりコンパクトな町の特性をいかし交通弱者を対象としたタクシーチケットの配布を香川県初では75歳以上で、身障（1・2級）療育（A・A）精神

**（1級）免許証返納者となつていますが、タクシーチケットの増額は可能か。**

件として宇多津町内に1年以上住所を有することとし、平成27年度と28年度には対象者の拡大を行った。増額については今後の検討事業の一つであると考えている。

**谷川町長** 福祉タクシー制度は、高齢者や障害者の外出を容易にし福祉の増進を図る目的として、平成13年度より開始された。助成条

度より開始された。助成条



福祉タクシー券



柴村 賢三 議員

## 無電柱化の推進を求める

### 今後の国の動向を見ながら判断する／地域整備課長

していく必要がある。

**問** 無電柱化推進法が成立し、各地で電柱・電線を地中に埋めて街並み景観保持や交通安全を推進。一方で、

災害時の電柱倒壊による道路の寸断や救急車などの通行止めも発生している。

ため、児童が車道側に寄り通学するなど大変危険な状況であるが。

**再質問** 電柱建て替え時の交通の妨げや道路整備計画の田町方面の電柱についての取り組みは。

本町は狭い道路上の電柱が交通を妨げ、日常生活環境にも悪影響が出ている。特に通学路の電柱をさける

松井地域整備課長 古街の道路整備計画をするにあたり、住民主体の「まちづくり委員会」で無電柱化についても検討協議されたが、電柱があることにより「車よけ」になり歩行者の

安全が確保されるという意見で、無電柱化を断念した経緯がある。

**松井地域整備課長** 基本は現状で建て替え、支障があれば民地に近いところへ要請する。協議はしていくが、無電柱化はかなりの時間が必要なので、道路整備時期に間に合うか不明である。

問 将来のまちづくりの基本構想・計画を実現し、さらなる発展を目指すため、今までの長期的計画を検証し見直しながら「まちの活性化」に向けて前進していかなければならない。

浅野まちづくり課長 総合計画ではアンケートを実施しており「住民満足度」を現状値とし、各分野を5%〜10%の向上を掲げている。

強度は耐震化されており、地震時においても被害は少ないとの話もあるが、国においては埋設技術方式や費用を低コストにする検討も行っているため、今後の国などの動向を見ながら判断

**再質問** 近年、地域住民相互の連携意識が希薄になっている。住民との意見交換を図る必要があるが。

## まちづくり総合計画の進捗状況は

### 住民の意向を把握しながら協働のまちづくりに取り組む／まちづくり課長

問 将来のまちづくりの基本構想・計画を実現し、さらなる発展を目指すため、今までの長期的計画を検証し見直しながら「まちの活性化」に向けて前進していかなければならない。

浅野まちづくり課長 総合計画ではアンケートを実施しており「住民満足度」を現状値とし、各分野を5%〜10%の向上を掲げている。

計画最終年に達成度の評価等を行うため、現時点での状況を示すことはできない。新都市・南部地域では防災、子どもを主題とした自治会結成、活動などの推進・施設を整備促進し、住民の意向を把握しながら協働のまちづくりに取り組んでいきたい。

**再質問** 近年、地域住民相互の連携意識が希薄になっている。住民との意見交換を図る必要があるが。

現在、前期計画（5年）の半ばに入っており、計画を実現するには「コミュニケーション

浅野まちづくり課長 総合計画ではアンケートを実施しており「住民満足度」を現状値とし、各分野を5%〜10%の向上を掲げている。

計画最終年に達成度の評価等を行うため、現時点での状況を示すことはできない。新都市・南部地域では防災、子どもを主題とした自治会結成、活動などの推進・施設を整備促進し、住民の意向を把握しながら協働のまちづくりに取り組んでいきたい。

**谷川町長** 出前座談会を行っており、要望があれば計画をたてることは可能である。



通行の支障になっている電柱

昨年の大松杯オープニングセレモニーでは、素晴らしい演奏とパフォーマンスに多くの方が魅了されました。その演奏をしたのが「宇多津小学校音楽クラブ」で毎日、朝・昼・放課後の練習に励んでいます。モットーは「演奏は心」。一人ひとりの個性を大切にしながらも仲間と心をつなげて、音楽を創る喜びや演奏をやり遂げた達成感をともに体感することを目標に活動しています。学校行事はもちろん、ユープラザのクリスマスコンサートなどでも演奏しています。



コンサート前の練習は真剣そのもの

**音楽クラブを引っ張る『6年生メンバー』**  
 《部長》森永 朋花(もりなが ともか) 《副部長》横田 理音(よこた りお)  
 宮本 羽海(みやもと うみ) 南 来夢(みなみ らむ)  
 福井 千春(ふくい ちはる) 佐藤 大宜(さとう だいき)  
 栗本 恵瑠菜(くりもと えるな) 高橋 那吏(たかはし なおと)  
 西本 仁一郎(にしもと じんいちろう) 阿河 愛莉(あが あいり)

**始めたきっかけは？**

- ・先生にスカウトされた
- ・音楽が好き
- ・人に聴いてほしい
- ・家族全員が吹奏楽部OB

**好きな曲は？**

- ・新世界 (14名)
- ・宝島 (10名)
- ・情熱大陸 (8名)
- ・シンク・シンク・シンク (4名)
- ・木星 (2名)



**応援しようでえ〜!**  
**うねづつろ**  
 宇多津小学校「音楽クラブ」



ユープラザうたづの「クリスマスコンサート2016」で演奏する音楽クラブの部員。後輩たちが憧れる6年生との演奏はこれが最後でした。

4年前に赴任して音楽クラブを受け持った時の部員の自信のない表情を見て「なんとかしたい」と、練習メニューや選曲、練習時間の確保、そしてコミュニケーション作りを少しずつ変えていきました。



指導(音楽専科) 島田千晶先生

すると子どもの意欲に変化が出てきて、今では「木星」や「新世界」などの難しいクラシック曲にも挑戦できるようになりました。子どもたちに少しずつ自信がつき、音楽を楽しむ心も成長したのだと思います。常に子どもたちと一生懸命頑張ることが、私の元気の源となっています。

# 元 気 な な か ま ぐ り ー づ 紹 介

## 「宇多津町文化協会」

宇多津町文化協会は昭和56年11月に発足し、35年になります。現在会員数は、芸能部22団体、文化部17団体の計471名です。年間行事としては春に総会を開き、9月には文化協会西讃支部の舞台発表会に参加し、11月には2日間かけてユープラザうたづにて「うたづ文化祭」を開催しています。1年間の活動の成果を各団体がホールでの芸能祭、各会場での文化展として発表しており、町内外を問わず、多くの方が見に来られます。また、同じ11月には文化協会の研修会ならびに会員交流会もあり、各団体相互の親睦も深めております。

明けて2月には、文化協会西讃支部の美術展に出品しています。ここ数年は、秋の文化祭に来られなかった方にも見ていただく機会として「ミニ芸能祭」を保健センター4階ホールで実施しています。

また、浜街道沿いのTSUTAYA店内で作品展を行ったり、体験教室などを開いたりして町民の皆さんとの触れ合いを心掛けています。

このところ会員数が減少しています。少人数のグループでも結構です。ご入会お待ちしております。入会ご希望の方は、お気軽に宇多津町教育委員会までお問い合わせ下さい。



夏 風



オッペンキッズ

### みなさまの声

## 津の郷自治会



津の郷自治会 会長  
宮本 隆史さん

私たちの自治会は近年、新興住宅が建ち並び、多くの子どもが遊ぶ姿をよく目にします。将来この子たちは、この地を故郷と思うのだろうかと考える時があります。古き良き伝統を守り継ごうとする旧住民、その良さを評価しつつもつながりを持ちたがらない若者。自治会組織を維持するにはどうしたらよいか、事あるごとに悩みます。各地で発生する大災害で住民の助け合う姿を報道で見ると、地域コミュニティの重要性・必要性を感じているのは私だけでしょうか。

## 田町南自治会



田町南自治会 会長  
和泉 清憲さん

当自治会は、北は旧町内の南部、南は県営団地北、東は大東川、西は青山までと広く、134世帯が加入しています。近年一戸建て住宅や集合住宅が一気に増えているものの、加入数は減少傾向にあります。子どもからお年寄りまでが安全に歩ける道路や公園の整備などを行政に要望し、安全で安心して暮らせる地域を作るとともに、秋の大祭や防災訓練などを通して一層の地域住民の融和を図り、「このまちがふるさと」と思ってもらえる地域を目指してまいります。

## あとがき

昨年度からの庁舎耐震改修工事により、町民のみなさまにはご迷惑をおかけしております。

議会定例会ごとに補正予算を慎重審議し、5月にはリニューアルした庁舎が完成します。もうすぐ選挙から2年が経ち、執行部とも歯車が合ってきたのではないかと思います。新庁舎の外見だけではなく、中身のある宇多津庁舎に見合うべく我々も磨いていきたいと思っております。

(港 一紫)

### 議会広報特別委員会

- 委員長 西本 祐子
- 副委員長 濱中 保夫
- 委員 港 一紫
- 委員 大黒 一也
- 委員 井上 弘治
- 発行責任者
- 議長 大松喜次郎